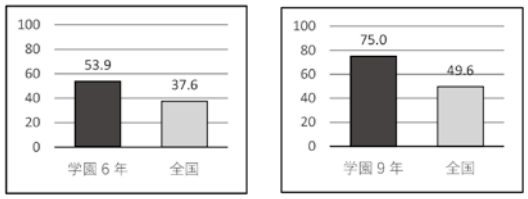
湯沢町の子どもたちの生活実態 ― 全国学力・学習状況調査から ―

本年４月に、６年生と９年生（中３）が受検した全国学力・学習状況調査における「児童生徒質問紙調査」の結果から捉えた子どもたちの実態です。

問 湯沢町教育委員会
☎ 025 － 784 － 2211

▶ゲームやSNS、動画視聴（ＴＶ含む）の時間

「３時間以上、ゲームや SNS、動画を視聴している」割合

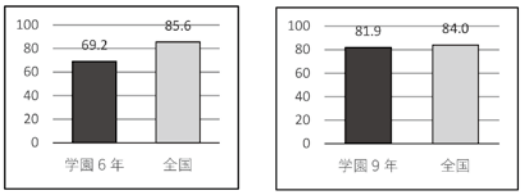


―― メディア接触の時間を減らしましょう

「３時間以上、ゲーム、SNS、動画視聴している」の割合は、６年生、９年生ともに全国平均よりも大幅に高くなっています。昨年、学園全児童生徒は、ゲームや SNS などのやりすぎで、脳がこわれ、イライラしたり落ち着かなくなるという話を、小児科医の先生の講演会で聞いています。やる時間を決めて、時間がきたらやめる。読書、外での遊びや観察など、大人も子どもと一緒にメディアではない楽しいことを探すことが大切です。

▶自己肯定感

「自分には、よいところがある」と答えた割合



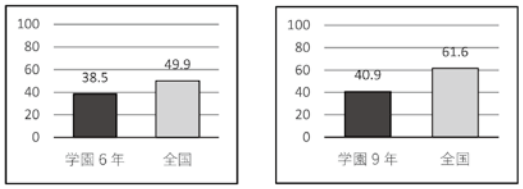
―― 子どもたちの自己肯定感を高めましょう

「自分には、よいところがある」と答えた割合は、６年生が全国より 16.4 ポイント低い 69.2％、９年生が 2.1 ポイント低い 81.9％でした。子どもの自己肯定感を高めることが課題です。

お子さんのよい点を見つけて、どんなに小さなことでも褒めて、伸ばすように心がけましょう。家庭で認められ、褒められることで、子どもは自信をもって行動できるようになります。

▶家庭学習の時間

「平日１時間以上勉強している」と答えた割合

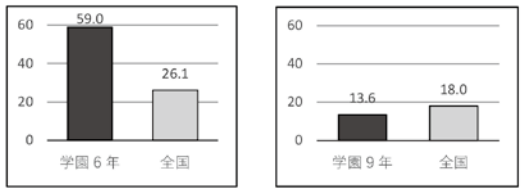


―― 家庭学習の時間を確保しましょう

「平日１時間以上勉強している」と答えた６年生は全国よりも 11.4 ポイント低い 38.5％、９年生が 20.7 ポイント低い 40.9％でした。「３時間以上、ゲームや SNS、動画視聴をしている」の割合が、高くなった分、家庭学習の時間が確保できていない状況があります。メディアに接触する時間をコントロールして、家庭学習に向けていくかが、大きな課題です。各家庭で、このことを真剣に話し合ってほしいと思います。

▶読書の習慣

「平日 30 分以上読書をしている」と答えた割合



―― 本を読む習慣を身に付けましょう

「平日、30 分以上読書をしている」と答えた割合は、６年生が全国より 32.9 ポイント高い 59.0％、９年生が 4.4 ポイント低い 13.6％でした。６年生の２時間以上読書をする割合は 23.1％と、全国よりも 18.1％高くなっていて、ゲームなどに流されないで、この習慣を継続してほしいと願います。

読書は、読解力や想像力などさまざまな面で子どもたちを伸ばし、心を豊かにする大切な習慣となります。

家庭ぐるみで子どもたちのメディア接触について考えましょう！！

今年の調査では、ゲームや SNS、テレビ、動画配信サイト等での動画視聴など、子どもたちのメディア接触時間の増加が大きな課題となりました。公益社団法人日本医師会と日本小児科医会では、メディア接触により、子どもたちから失われるものは、睡眠時間、学力、脳機能、体力、視力、コミュニケーション能力の６つとしています。幼児期から、スマホで子育てをしている例も見受けられますが、とても心配なことです。ICT リテラシーも大切ですが、それ以前に自分自身をコントロールするための脳の機能が壊れてしまうことに目を向け、家庭ぐるみでメディア接触について考えていく必要があります。